

環境と健康

発行者
一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会
佐藤 均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730-8631
電話 082-293-1511番
振替口座01380-2-27511
URL http://www.kanhokyo.or.jp/



SDGsの目標を作品に込めて

環境と健康のポスター・標語コンクールの応募を開始

今年度からは、広島県が実施している「環境と健康月間ポスター」と連携して、広島県、広島県教育委員会、(財)広島県環境保全公社と共催し、また、(社)広島県医師会、(社)広島県歯科医師会、(公社)広島県薬剤師会から後援をいただきます。テーマは、昨年度と同様に環境分野は「私たちが守る地球を守ろう」、健康分野は「みんなががんばる健康生活」です。

今年度で12年目を迎える「環境と健康のポスター・標語コンクール」は、新たに広島県などの共催、後援をいただき、より多くの作品が集まることを期待し活動を進めていきます。

国際的な取り組みとして、「SDGs」の17の持続可能な開発目標のロゴを見かけるようになりましたが、このコンクールは目標のうち8つ(左図)が該当するので、これらの目標に沿った作品を募集します。集まった作品は、各公衛協での第1次選考の後、環境協に推薦作品を提出し、当協会の選考委員会で第2次選考を行います。第2次選考では、分野・部門別に入賞作品を決定し、最優秀賞の受賞者は11月21日に府中市で開催される第60回広島県公衆衛生大会の席上で表彰します。

入賞作品は大会会場で展示し、当協会のホームページや情報紙で紹介するほか、県内数カ所で広島県が主催する展示会で広く県民に紹介します。各公衛協では、地元イベントで展示や表彰式の開催、優秀作品を活用して啓発グッズ作成、配布や公衛協だよりに掲載してPRするなど、幅広い広報活動に活用されています。

ポスター・標語コンクールは年々応募作品数が増え、昨年度は約3万8千点の応募がありました。今年度は共催・後援による連携も相まって、全ての公衛協で実施できるよう呼びかけを行い、より多くの作品が集まるようご協力をお願いします。

経営ビジョンの具体化を目指して 第3期中期経営計画を策定

当協会は、一般財団法人となった2013年に、基本理念として「みんなの生命(いのち)をまもりたい」を定め、10年後のあるべき姿を描いた経営ビジョンを策定しました。その実現のため、2013年度から2015年度までの第1期中期経営計画では、「新法人の基盤づくり」に取り組みました。また、2016年度から2018年度までの第2期中期経営計画では、「新しい柱の立ち上げ」を目標に、「チャレンジし、成果を生み出せる人づくり」、「高い技術力を活かし、信頼される組織づくり」、「事業化への芽だしとなる他団体や大学とのネットワークづくり」などに取り組みました。

今回策定した第3期中期経営計画は、10年間で取り組む第1次経営ビジョンの総仕上げとなる計画です。今後さまざまな社会システムが激変していくことを想定しながら、これまで培ってきた技術を「進化・深化・新化」させ、更なる生産性の向上を目指し、職員が生き生きと躍動できる職場を作り、第1期と第2期中期経営計画でまいてきた種の芽だしに努め、新しい事業を積極的に立ちあげる4年間と位置づけています。協会の持続的発展と協会の使命である公益事業を確実に展開するための安定した経営基盤を構築するため、役職員が一致団結し、経営ビジョンの具体化を目指します。

- 経営管理センター
 - ①ビジネスシードの探索と新事業開発
 - ②健康経営の実施による役職員が元気に働ける職場づくり
 - ③生産性向上を目的とした新技術導入による協会全体の事務作業自動化
- 地域活動支援センター
 - ①減災・防災・復興に寄与する人材の育成
- 健康科学センター
 - ①受診者ニーズに応えた人間ドック(診療)の企画運営
 - ②基幹システムの更新を含めたIT化の推進、作業効率の向上
- 環境生活センター
 - ①広域連携対策としての水質管理系業務への取り組み
 - ②エリア限定 HACCP の立上げと総合衛生管理業務の拡大
 - ③ITの活用と検査機器の見直しによる生産性の向上

きんせんか 琴線歌

かつての婦人科悪性腫瘍の治療は長らく、手術と放射線療法が主流でしたが1980年代に至り白金製剤を中心とした化学療法の導入により、悪性腫瘍(特に卵巣癌)を縮小させたり、消失を期待することも可能となり、婦人科悪性腫瘍の治療法が大きく変わってきました。すなわち、進行癌で手術での摘出が不可能な状態でも、化学療法で縮小させて手術あるいは手術で残存した腫瘍を化学療法で消滅させることも可能となりました。しかし、進行癌では時間の経過とともに再発・転移も少なからず認められ、問題点とされています。最近では分子標的薬の導入が始まり、その効果が期待されていると同時に、今後は免疫療法の導入に向けた多くの臨床試験が始まり、大

婦人科がん治療の変遷

は転移巣に対しても、正常組織への過剰な照射を避けることで副作用を減少させるための方法として強度変調放射線治療が応用されつつあります。▼今後は手術・化学療法・分子標的薬・免疫療法・放射線療法等を腫瘍種類、あるいは進行度に応じて最適な組み合わせでの進行癌治療となるでしょう。(健康クリニック 参事 勝部泰裕)



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)
TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

基本理念 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。

